

須高地域 感染症情報[2025/2026シーズン 第2号]

2025年11月25日(火)

県内に「インフルエンザ警報」が発表されました

県では第46週(11月10日～11月16日)で、インフルエンザの定点当たりの患者数が30.61人(定点数:80か所、患者数:2,449人)となり、警報の基準値である30.00人を上回ったことからインフルエンザ警報を発表しました。(第45週に「インフルエンザ注意報」を発表)

インフルエンザは例年、1月～3月にピークを迎えるので、今後さらなる流行が懸念されます。

長野保健所管内でも急増中です

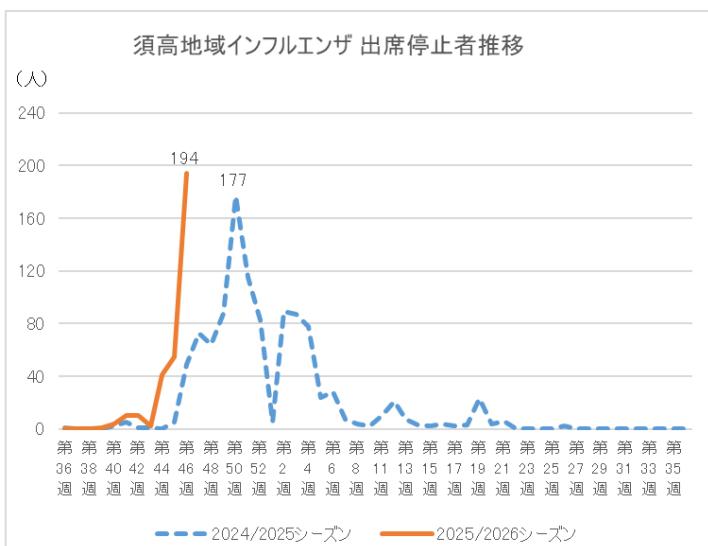
		地区別定点当たり届出数 (最近5週間)				
定点数	42週	定点当たり届出数(人)				
		43週	44週	45週	46週	
長野市	16	0.75	1.00	1.94	9.38	15.25
松本市	7	0.86	0.57	1.14	7.29	29.00
佐久	8	1.00	0.50	2.88	5.50	26.00
上田	8	1.50	1.63	10.75	16.75	41.25
諏訪	6	4.00	4.33	3.83	13.83	32.00
伊那	8	1.13	1.25	5.13	12.13	48.88
飯田	7	1.86	0.86	3.29	32.71	48.71
木曽	2	0.00	0.00	2.00	13.00	49.50
松本	5	1.17	3.00	1.50	6.40	49.80
大町	3	0.33	2.33	3.00	1.33	2.33
長野	5	2.00	0.60	8.00	9.60	26.00
北信	5	1.00	1.40	0.60	4.60	11.00
全県	80	1.32	1.41	3.70	11.51	30.61

外出後の流水・石けんによる手洗いや手指消毒、適切なマスクの脱着、室内の換気や適度な湿度の保持等の感染対策を心がけましょう。

2025年第46週(11月10日～11月16日)に、長野保健所管内におけるインフルエンザの定点当たりの患者数が26.00人となり、注意報レベルの基準値である定点当たり10人を上回りました。

前週に比べ、約3倍増加しています。

＜須高地域の園・学校における状況＞



第44週(10月27日～11月2日)からインフルエンザによる出席停止者が増え始め、第46週(11月10日～11月16日)は194人となり、昨シーズンの第50週(2024年12月9日～12月15日)の177人を超えています。

また、学級・学年閉鎖も増加を続けており、第46週では4学年10学級が閉鎖しました。

感染拡大を起こさないために感染対策を徹底し、体調が悪い時は早めの受診を心がけましょう。

インフルエンザの 患者さん・ご家族・周囲の方々へ

インフルエンザにかかった時は、飛び降りなどの異常行動をおこすことがあります。

特に発熱から2日間は要注意！

窓の鍵を確実にかけるなど、異常行動に備えた対策を徹底してください。

●異常行動による転落等の事故を防ぐためのお願い

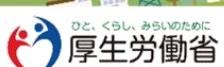
- インフルエンザの患者さんでは、抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無や種類にかかわらず、異常行動に関連すると考えられる転落死等が報告されています。
- 異常行動は、①就学以降の小児・未成年者の男性で報告が多い（女性でも発現する）
②発熱から2日間以内に発現することが多い ことが知られています。

異常行動の例



- 突然笑い出し、階段を駆け上る
- 自宅から出て外を歩いていて、話しかけても反応しない
- 変なことを言い出し、泣きながら部屋の中を動き回る
- など

- 万が一の転落等の事故を防止するため、発熱から少なくとも2日間は、就寝中を含め、特に小児・未成年者が容易に住居外へ飛び出さないために、例えば、以下のようないくつかの対策を講じてください。



最新の感染症情報を、須坂市ホームページに掲載しています

小布施町、高山村、須高医師会の各ホームページ又は下記の二次元コードからもアクセスできます。



須坂市大字須坂1391番地（須高医師会館内）

担当 地域医療福祉ネットワーク推進室

富沢（係長） 中村（担当者）

電話 026-248-9101 フaxシミリ 026-248-9101

電子メール s-kenkodukuri@city.suzaka.nagano.jp